

(請求人による通し番号 2406-4)

令和6年上尾市教育委員会5月定例会で報告された『教育環境に関するアンケート調査報告書』P26に、以下のとおり、教員の意見(自由記述)が掲載されています。

- ・ 小さな社会しか知らない井の中の蛙状態になっており、大会など外部に出たときに緊張して実力を発揮できない。また、修学旅行について、人数が少ないため一人あたりの金額が割高なのに宿舎はランク・規模が他校より低い旅館で、従業員が少ないためか質素な食事メニューで、中規模・大規模校とはあまりにも違い、機会の平等性に欠けているのが実情だと感じた。適正な人数・クラス数・部活動数が保障され、普通に経験できることが普通に提供できる学校が望ましい。正直なところ、小規模校にメリットを感じることはほとんどなく、生徒が本来経験できる機会が奪われているので、統合して適正な学級数で切磋琢磨できる環境を与えたほうが良いと思います。

自由記述の意見だとはいえ、この内容が事実だとすれば、由々しき事態であると請求人は考えます。そこで、このことについて検証するために、以下の情報の開示を求めます。なお、開示される文書・資料等については、電子交付にてお願いいたします。

(1) 令和5年度における上尾市内各小・中学校の修学旅行に関し、

- (1) - 1 各小・中学校の修学旅行の日程と行き先。
- (1) - 2 各小・中学校の児童・生徒1人当たりの修学旅行費用。
- (1) - 3 修学旅行の宿泊先の名称と児童・生徒1人当たりの宿泊費。
- (1) - 4 旅行業者が手配している場合は、その旅行業者名(各小・中学校毎)。

以上が判別できる文書・資料等。なお、市内全体の一覧表が望ましい。

(2) 尾山台小・平方北小・大石南中の修学旅行宿泊先で提供された食事のメニューが判別できる文書・資料等。

(3) 上記(1) - 3において、児童・生徒1人当たりの宿泊費が最も高額であった小学校および中学校(つまり、小・中それぞれ1校)の修学旅行宿泊先で提供された食事のメニューが判別できる文書・資料等。